【別海町】

１人１台端末の利活用に係る計画

１　１人１台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」では、「令和の日本型学校教育」の姿を「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」としている。

GIGAスクール構想にて整備された１人１台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等用いて、児童生徒が個々の持つ能力を最大限引き出し、持続可能な社会の担い手となれるような能力を育成を目指す。

２　GIGA第１期の総括

全児童生徒分における１，４００台の１人１台端末及び高速大容量の通信ネットワークを整備するとともに、GIGAスクール運営支援センターを設置し、端末の活用を円滑に行えるよう体制を築いた。

また、１人１台端末の家庭への持ち帰りを可能とし、デジタルドリルを用いた家庭学習を進め、学習意欲の向上や個別最適な学びの実現に努めた。

GIGAスクール構想の実現に向けたこれらの整備や取組により、端末を使った調べ事、作品作り、グループ学習や情報共有が日常となった。児童生徒の特性に合った活動により、表現方法の幅も広がり授業も活発になっている。

課題として、教職員間、学校間での端末利活用状況の格差が挙げられるが、ICT活用に係る研修等、ICT指導に関する意識とスキルの向上を図っている。

３　１人１台端末の利活用方策

GIGA第２期の端末の整備・更新により、児童生徒向けの１人１台端末環境を引き続き維持するとともに、以下のとおり利活用していく。

（１）　１人１台端末の積極的活用

GIGAスクール運営支援センターによるサポートのほか、ICT活用に係る研修を実施等により、教職員の効果的な活用ができるよう促す。

（２）　個別最適・協働的な学びの充実

タブレットドリルの活用による学習進度に合わせた個別最適な学びを充実させる。

（３）　学びの保障

不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等への端末を活用した支援行う。